

ゲンゴロウ *Cybister chinensis* Motschulsky

【選定理由】

生息に必要な池の減少と、汚水や農薬の流入などによる池の環境悪化などが重なり、平野部からほとんど姿を消した。

【形態】

体長 34～42mm。体型は卵形。背面は緑色あるいは褐色を帯びた暗褐色で強い光沢がある。前胸背および上翅の側縁部は黄色。体下面は黄褐色で一部黒色。肢は黄～赤褐色。♀の背面は縮刻を密に装う。

【分布の概要】

【県内の分布】

かつては広く平野部に生息していたが、現在では三河山間部の一部に見られるのみである。

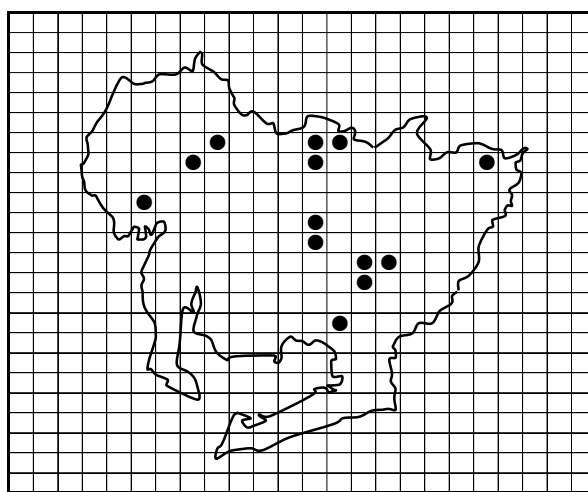
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

台湾、中国、朝鮮半島、シベリア。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

ヒルムシロ、オモダカなど水生植物が豊富な池沼に生息している。

【現在の生息状況／減少の要因】

平野部の池沼の多くが埋め立てなどで失われ、生息域が著しく狭められた。現在では山間に残された池に細々と生き延びているに過ぎない。ネオニコチノイド農薬による影響も疑う必要がある。

【保全上の留意点】

止水池の護岸コンクリート化やゴムシート張りが増えてきているが、土のある良好な自然池の復元、棚田上部池の保全および水田の農薬散布に際しては十分な配慮が必要である。また、ペット業者などによる採集は厳に慎むべきである。

【関連文献】

佐藤正孝, 1990. 愛知県の甲虫類 (I). 愛知県の昆虫, (上): 204-231. 愛知県.  
北山 昭ほか, 1993. 日本のゲンゴロウ: 157. 文一総合出版.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)